学校番号	T3011

令和８年度　理科

教科	理科	科目	生物基礎	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	高等学校　改訂　生物基礎（第一学習社）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

「自然に親しみ、見通しを持って観察、実験などを行い、問題解決の能力と自然を愛する心情を育てる」小・中学校での理科の学習を終えて、人と自然について「生命活動」「遺伝子」、「恒常性」、「生態系」という３つの観点を見ると、どのように見えてくるのか？どのように生き、行動すれば人と自然を大切にし、健康な生活を送れるのか？この２つの問題を常に意識して、学び続けてください。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究 するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	多様な生物も細胞からなり、遺伝子としてＤＮＡをもち、エネルギーの受け渡しにＡＴＰを使うという共通性を持つことを理解する。	生物や生命現象の中に問題を見出し、探究する過程を通じて、事象を科学的に考察し、導き出した考えを適切に表現している。	日常生活や社会との関連を図りながら生物や生命現象の関係に関心をもち、意欲的に探究しようとするとともに、生物の共通性と多様性を意識しようとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
	生物の特徴	・生物の共通性 ・生物とエネルギー	a: 生命活動のエネルギーと代謝の関係について理解している。 b: 生物と遺伝子に関する探究活動を通して、それらを的確に記録し、整理している。 c: 生物の多様性と共通性に関心を持ち、意欲的に探究しようとする。	定期考査 授業プリント 小テスト	定期考査 授業プリント 探究活動	授業プリント 観察
	遺伝子とその働き	・遺伝子の本体と構造 ・遺伝情報とタンパク質	a: DNA の情報に基づくタンパク質の合成について理解し、身に付けている。 b: 細胞分裂で、遺伝情報の同一性が保たれていることを考察している。 c: 遺伝現象と DNA に関心を持ち、意欲的に探究しようとする。	定期考査 授業プリント 小テスト	定期考査 授業プリント 探究活動	授業プリント 観察
	ヒトのからだの調整	・情報の伝達と体内環境の維持 ・免疫	a: 体内環境の維持に自律神経とホルモンが関わっていることを理解し、知識を身に付けている。 b: 生物の体内環境の維持に関する探究活動を通して、生物学的に探究する方法を習得するとともに、記録、整理している。 c: 体内環境について関心をもち、意欲的に探究しようとする。	定期考査 授業プリント 小テスト	定期考査 授業プリント 探究活動	授業プリント 観察
	植生と遷移	・植生と遷移 ・バイオーム	a: 陸上には様々な植生がみられ、植生が長期的に移り変わっていくことを理解し、知識を身に付けている。 b: 生物の多様性と生態系に関する探究活動を行い、事象を考察し、的確に表現している。 c: 気候とバイオームについて関心をもち、意欲的に探究しようとする。	定期考査 授業プリント 小テスト	定期考査 授業プリント 探究活動	授業プリント 観察

	生態系とその保全	・生態系と生物の多様性 ・生態系のバランスと保全	a:生態系と物質循環について理解している。 b: 生物の多様性と生態系に関する探究活動を行い、事象を考察し、的確に表現している。 c:生態系のバランスについて関心をもち、意欲的に探究しようとする。	定期考査 授業プリント 小テスト	定期考査 授業プリント 探究活動	授業プリント 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度